

心理学教育における学士力の考察

【到達目標】

1. 人間の心や行動が、生物学的要因、個人的要因および社会・文化的要因の影響を受けていることを理解できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

生理・神経心理学、知覚・認知心理学、学習心理学、パーソナリティ心理学、社会心理学、発達心理学、教育心理学、臨床心理学、産業・組織心理学、健康心理学など

【到達度】

- ① 心理学の基礎知識を持ち、人間の心や行動を理解しようとする姿勢を持っている。
- ② 人間の心や行動が生物学的、個人的、社会・文化的要因の影響を受けていることを客観的・論理的に説明できる。
- ③ ②で得た知識を用いて、具体的な心理学的現象を説明できる。

【測定方法】

- ①は、3要因に相当する主要な概念の理解度を測定するための客観式の筆記試験、レポート、ディスカッションなどにより、確認する。
- ②は、或る心理学的現象について、人間の心や行動が3要因の影響を受けていることを論述式の筆記試験などにより、確認する。
- ③は、具体的な事例を取り上げて、心理学的観点から説明できることをレポート、ディスカッション、論述式の筆記試験などにより、確認する。

【到達目標】

2. 人間の心や行動に関わる現象の要因を科学的な手法を用いて明らかにできる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

心理学研究法、心理学基礎実験、心理尺度構成法、心理統計法など

【到達度】

- ① 因果関係、相関関係を説明することができる。
- ② 実験、調査、観察などの手法について長所・短所を説明できる。
- ③ 心理学的現象の原因や諸要因の関連性を明らかにするために、適切な統計分析法による実験や調査をデザインできる。
- ④ 実験や調査などのデータを吟味し、適切な統計手法による分析を行い、結果の解釈ができる。

【測定方法】

- ①は、因果・相関関係に関する客観式・論述式の筆記試験、レポートなどにより、確認する。
- ②は、実験、調査、観察に関連する基礎的概念、データ収集方法、データ解析法の理解度を客観式・論述式の筆記試験、レポートなどにより、確認する。
- ③は、或る心理学的現象について、具体的な実験計画や調査計画を立案させ、レポート、客観式・論述式の筆記試験などにより、確認する。
- ④は、各種統計手法を理解していること、および適切なデータ分析ができることをレポート、客観式・論述式の筆記試験などにより、確認する。

【到達目標】

3. 心理学的理論や手法を自己および社会の諸現象の理解に応用できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

研究発表、プレゼンテーション、卒業研究など

【到達度】

- ① 既存の理論や概念に基づいて、心理学的観点から問題を発見し、新たな発想が立てられる。
- ② 問題に対する仮説を検証するために、体系的にデータ収集・統計解析ができる。
- ③ 解析結果を踏まえ、適切に結論を導き出し、レポート、論文としてまとめることができる。

【測定方法】

- ①～③は、研究発表、プレゼンテーション、卒業研究などにより、確認する。